

別記様式第15号－1(第29第4項関係)

令和4年度 消費・安全対策交付金(食料安全保障確立対策推進交付金)都道府県等成果及び評価報告書(令和5年8月作成)
 (令和4年度消費・安全対策交付金 令和3年度当初予算繰越分)

都道府県等名:愛媛県

目的	目標	目標値及び実績			事業実施主体ごとの達成度			交付金相当額 (円) (うち地域提案メニュー)	備考
		目標値	実績	達成度	事業実施主体	目標	達成度		
Ⅱ 伝染性疾病・病害虫の発生 予防・まん延防止	重要病害虫の特別防除等	対象病害虫の調査の総回数 449回	449回	100%	愛媛県	449回	100%	251,406	
総計・総合達成度				総合達成度 100 総合評価 A				251,406	

国による評価の概要

総合達成度は100%であり、総合評価「A」は妥当と判断する。なお、事業は適切に実施されたと評価する。

目標 重要病害虫の特別防除等																					
事業実施期間 令和 4 年度			都道府県等名 愛媛県																		
事業の実施方法																					
<p>検疫有害動植物のミバエ類（ウリミバエ、チチュウカイミバエ、ミカンコミバエ）等の重要病害虫は、一度侵入・まん延すると県の農業生産に大きな被害をもたらすが、その被害軽減のためには、発生を早期に発見し防除対応を行うことが最も重要である。このため、県内の果樹や野菜の栽培地域において侵入警戒調査等を実施した。</p> <p>侵入が警戒される 8 種（チチュウカイミバエ、ミカンコミバエ種群、ウリミバエ、カンキツグリーンング病、アリモドキゾウムシ、イモゾウムシ、火傷病、プラムポックスウイルス）について、侵入の危険性の高い時期に誘殺トラップや目視等により、県内の果樹、野菜等の主要産地（地点）において調査を実施した。</p> <p>目標値は調査地点数に調査月数を乗じた調査総回数であり、449 回とした。なお、ウリミバエ及びミカンコミバエ種群の調査については、同一地点として算出した。</p> <p>【調査対象種ごとの調査回数】</p> <table border="0"> <tr> <td>チチュウカイミバエ</td> <td>21 か所 × 8 か月 (4~11 月) = 168 回</td> </tr> <tr> <td>ウリミバエ・ミカンコミバエ</td> <td>21 か所 × 8 か月 (4~11 月) = 168 回</td> </tr> <tr> <td>カンキツグリーンング病</td> <td>21 か所 × 3 か月 (4, 6, 9 月) = 63 回</td> </tr> <tr> <td>アリモドキゾウムシ</td> <td>2 か所 × 6 か月 (5~10 月) = 12 回</td> </tr> <tr> <td>イモゾウムシ</td> <td>2 か所 × 6 か月 (5~10 月) = 12 回</td> </tr> <tr> <td>火傷病</td> <td>2 か所 × 5 か月 (4~8 月) = 10 回</td> </tr> <tr> <td>プラムポックスウイルス</td> <td>16 か所 × 1 か月 (6 月) = 16 回</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">計 449 回</td> </tr> </table>						チチュウカイミバエ	21 か所 × 8 か月 (4~11 月) = 168 回	ウリミバエ・ミカンコミバエ	21 か所 × 8 か月 (4~11 月) = 168 回	カンキツグリーンング病	21 か所 × 3 か月 (4, 6, 9 月) = 63 回	アリモドキゾウムシ	2 か所 × 6 か月 (5~10 月) = 12 回	イモゾウムシ	2 か所 × 6 か月 (5~10 月) = 12 回	火傷病	2 か所 × 5 か月 (4~8 月) = 10 回	プラムポックスウイルス	16 か所 × 1 か月 (6 月) = 16 回		計 449 回
チチュウカイミバエ	21 か所 × 8 か月 (4~11 月) = 168 回																				
ウリミバエ・ミカンコミバエ	21 か所 × 8 か月 (4~11 月) = 168 回																				
カンキツグリーンング病	21 か所 × 3 か月 (4, 6, 9 月) = 63 回																				
アリモドキゾウムシ	2 か所 × 6 か月 (5~10 月) = 12 回																				
イモゾウムシ	2 か所 × 6 か月 (5~10 月) = 12 回																				
火傷病	2 か所 × 5 か月 (4~8 月) = 10 回																				
プラムポックスウイルス	16 か所 × 1 か月 (6 月) = 16 回																				
	計 449 回																				
目標値																					
項 目	現状	目標値	実績	達成度	評価																
対象病害虫の調査の総回数	473 回	449 回	449 回	100%	A																
事業内容及び実績額																					
事業内容	規格・規模等	所要額実績 (円)	左の交付金相当額 (円)	交付率 (%)																	
(1) 重要病害虫侵入警戒調査等の実施	調査総回数 449 回	251,406	251,406	100																	

事業の成果

計画通り、計449回の調査を実施した。

ア 対象病害虫名	イ 取り組んだ調査の実施地点、実施時期、調査方法	ウ 取り組んだ防除対策の実施地域、実施時期、防除方法
ミバエ類 (チチュウカイミバエ、ウリミバエ、ミカンコミバエ種群)	果樹・野菜栽培ほ場を対象に21地点(四国中央市1、西条市1、今治市3、松山市4、伊予市4、砥部町1、大洲市1、内子町1、八幡浜市2、宇和島市2、愛南町1)でトラップ調査を実施した。 実施時期：4～11月	発生が確認されなかったため、該当なし
カンキツグリーニング病	カンキツ類園地を対象に21地点(ミバエ類調査と同一園地)で見取調査を実施した。 実施時期：4、6、9月	発生が確認されなかったため、該当なし
アリモドキゾウムシ	サツマイモほ場を対象に2地点(西条市1、松山市1)でトラップ調査を実施した。 実施時期：5～10月	発生が確認されなかったため、該当なし
イモゾウムシ	サツマイモほ場を対象に2地点(西条市1、松山市1)で見取調査を実施した。 実施時期：5～10月	発生が確認されなかったため、該当なし
火傷病	ナシ園地を対象に2地点(今治市1、松山市1)で見取調査を実施した。 実施時期：4～8月	発生が確認されなかったため、該当なし
プラムポックスウイルス	ウメ、モモ園地を対象に16地点(西条市3、今治市2、松山市2、砥部町2、久万高原町1、大洲市1、宇和島市1、内子町1、松野町2、愛南町1)で見取調査を実施した。 実施時期：6月	発生が確認されなかったため、該当なし

都道府県等による評価の概要

計画どおり必要な調査を実施できており、達成度も100%と良好であった。

第三者の主なコメント

愛媛大学 農学部 教授 小西 和彦

侵入を警戒する7種1種群の病害虫に対して行われた侵入警戒調査は、調査地点、調査方法、調査回数いずれも適切であり、目標値通り調査している。この調査の結果いずれの病害虫も発見されていないことから、未だ当該地域には侵入していないものと判断できる。これらの侵入は地域農業に壊滅的打撃を与えるものであり、当事業は今後も継続して実施すべきである。

国による評価の概要

目標値は達成されており、重要病害虫の侵入を早期に発見する調査に関する事業は適切に実施されたと評価する。